

様式第七 <記載例>

取扱処方箋数届書

許可番号及び年月日	第 薬局-〇〇〇〇〇号、〇〇年〇〇月〇〇日	①
薬局の名称	〇〇薬局	②
薬局の所在地	東大阪市〇〇町〇〇丁目〇番〇号	③
前年において業務を行った期間及び日数	〇〇年〇〇月〇〇日~〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇〇日	④
前年における総取扱処方箋数	〇〇, 〇〇〇枚	⑤
備 考	1日平均取扱処方箋数：〇〇〇枚  担当者氏名：〇〇 連絡先：〇〇〇〇-〇〇〇〇	⑥

上記により、取扱処方箋数の届出をします。

〇〇年 〇〇月 〇〇日

⑦

住所 ( 法人にあつては、主たる事務所の所在地 ) 東大阪市〇〇町〇丁目〇番〇号

氏名 ( 法人にあつては、名称及び代表者の氏名 ) 株式会社〇〇薬局  
代表取締役 ◆◆ ◆◆ ⑧

(宛先) 東大阪市長

## <記載上の留意事項（取扱処方箋数届書）>

### ① 許可番号及び年月日

- ・許可番号は、許可証に記載されている番号を「第」から「号」まで記載すること。
- ・許可年月日は、許可証に記載されている有効期間の開始年月日を記載すること。発行年月日と間違えないこと。

### ② 薬局の名称

- ・許可証に記載されている薬局の名称を記載すること。

### ③ 薬局の所在地

- ・許可証に記載されている薬局の所在地を記載すること。

### ④ 前年において業務を行った期間及び日数

- ・前年の1月1日から12月31日までの間で、調剤の有無に関わらず薬局として業務を行った期間及び日数（A）を記載すること（定休日等を差し引くこと）。

### ⑤ 前年における総取扱処方箋数

- ・前年において取り扱った眼科、耳鼻いんこう科及び歯科の処方箋の数にそれぞれ3分の2を乗じた数（その数に1に満たない端数が生じた時は、その端数は1とする）とその他の診療科の処方箋の数との合計数（B）を記載すること。

### ⑥ 備考

- ・1日平均取扱処方箋数（「前年における総取扱処方箋数」を「前年において業務を行った日数」で除した数  $\lt B/A \gt$  とし、その数に1に満たない端数が生じた時は、その端数は1とする）を記載すること。⇒ 「3.5」の場合は「4」となる
- ・担当者氏名及び連絡先を記載すること。

### ⑦ 提出年月日

- ・保健所窓口へ提出した年月日を記載すること。

### ⑧ 申請者の住所及び氏名

- ・法人の場合は、登記されている本店の所在地、商号及び代表取締役氏名を記載すること。